

## 子育て時間を大切にする、シンプル子育て

### 集団でがんばるからできる

そもそも学校は同じ年齢の子供たちが集団で一緒に取り組む空間であるので、家庭では学習になかなか取り組みづらいつ感じます。

また私も家ではゆっくりしたいので、宿題にゴタゴタ言うのはちょっと…という気持ちがあるので、「宿題をここに持ってきてから、おやつね」という程度で「宿題やりなさい！」とまでは強く言えません。家庭内の空気が悪くなることが見えているので、あまり言いたくありません。

### 宿題のサポートはできない！でも学習のサポートはできる！

では、「家庭でどんなサポートをしたら良いのだろう」と私なりに考えてみました。

そこで思いついたアイデアが

- (1) アルファベット表をプリントアウトしてあげる
- (2) これまでで間違っていた問題を小さな紙に書いて、筆箱に入れておいてあげるというものでした。

いったいどうやるの？

- (1) アルファベット表をプリントアウトしてあげる
- (2) これまでで間違っていた問題を小さな紙に書いて、筆箱に入れておいてあげる

このそれぞれの取り組み方を説明します。

- (1) 表を印刷して、学校に持たせておく

・表を印刷して持たせておくと、授業中に使うことができるようで、担任の先生にも褒められました。子供も、はかどることがうれしいようです。

- (2) 間違った問題を小さな紙にかいて筆箱に入れる

・こちらは「1日に何度も見てチラチラ覚える」という暗記方法を応用した取組です。漢字やカタカナなどろ覚えの文字だけを小さな紙に書いて入れるようにしました。くり返し練習をしようとする、嫌がられるので一切取り組んでいませんでしたが、次の漢字テストは点数が上がりました。何度もチラチラ目にする方法でも効果があった上に、「ママ、ありがとう！」と子供たちからとても感謝されました。

小さな紙を筆箱に入れるサポートは、わたしにとってあっという間にできますし、時間もかからず効果が高いです。テストの正答率も上がりましたし、復習にもなります。

仕事・家事・育児にフルにがんばりたい私にピッタリの方法です。今後も続けていこうと思っています。